

SONY

ソニーが（アルプスの水で）、はじめた未来。

Utilizing Water from the Alps | fact 07
Anif, Austria



For the Next Generation

地球の未来を、グリーンに。ソニーのエコロジー

100%グリーン電力で稼働するブルーレイディスク工場は、アルプスの水の恵みを活かして、省エネに取り組んでいます。

アルプスのふもとで、ソニーのブルーレイはつくられます

オーストリアのザルツブルグから程近い「アニフ」という町に、ブルーレイディスクが
つくられているソニーの工場があります。アルプスの美しい山並みを間近に眺み、
すぐ隣にはアルプスの雪解け水を豊富にたたえた川が流れる山麓の町で、ソニーの
アニフ工場は100%グリーン電力*で稼働しています。山に囲まれ雨が多いこの地域
ならではの、水力によるグリーン電力を調達することでCO₂の排出を削減。さらに
グリーン電力の購入費用の一部を、ダムの横の魚の通り道「魚道（フィッシュパス）」
の建設にあてるなど、地域の環境保全や自然保護の取り組みにも活用されています。
ソニーは地域の一員として、この土地の環境保全と自然保護に貢献しながらグリーン
電力の利用を進めています。*風力や太陽光、バイオマス、水力など、格別有害CO₂も発生しないエネルギーにより発電された電力



ソニー DADC オーストリア アニフ工場

地下水を利用して省エネを行い、川に返しています

CO₂排出ゼロに向けた取り組みは、ただグリーン電力を購入しただけではありません。そこに至るまで
には、数々の省エネへの努力を重ねてきました。生産設備の徹底した効率化をはじめ、豊富に湧き出る
地下水を施設の空調用機器の冷却に活用するという、この地域ならではの自然の恵みを活かした
省エネの工夫も行っていきます。使用した地下水は汚すことなく、そのまま川に戻すことで、生態系へ
配慮しています。こうした努力によってアニフ工場では、全体の消費電力を最小限にまで減らし
そのうえでどうしても抑えることができない電力をグリーン電力でまかなっています。
また、ディスクの製造においては、生産上発生するポリカーボネートの端材をリサイクル
するなど、省資源化にも積極的に取り組んでいます。地域と共生しながら、グリーンな
環境でブルーレイディスクをつくるために、ソニーのつくる未来が、はじまっています。



アニフ工場でも製造されるブルーレイディスク

●Blu-ray Discは商標です



ソニーはWWF(世界自然保護基金)が推進するクライメイト・セイバーズ・プログラムに参加し、CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出量を絶対量で減らす目標を掲げて、第三者機関の検証のもとに実施しています。

www.sony.co.jp/eco